

台風21号被害に係る住民説明会

日時：令和元年11月26日 19:00～20:30頃

場所：芦屋市保健福祉センター

参加者 23名

※尼管：兵庫県  
阪神南県民センター  
尼崎港管理事務所

No	質問・意見等	回答等
1	浜打出橋の路面から1.1～1.4mぐらい高さの護岸で嵩上げ高が40cmぐらいになるから、小さな子供でも通行確認できると考えても良いですか。	尼管) 浜打出橋の嵩上げ高は、路面からの高さが約1.4m程度です。浜打出橋付近の道路の高さの方が上がっていて、橋の付近では、嵩上げ高0.4m、橋の周辺の道路の高さから約70cm程度の壁になります。小学校低学年の身長が約100cmとすると、全く見えなくなることはなく、頭が見える程度で安全だと考えています。
2	現在は、フェンスを越えて、夏場に学童がよく川の中に入って遊んでいます。そういう場が今回なくなるのですか。防災も大事ですが、やはり自然と触れ合うということも大事です。西蔵橋の北側と浜打出橋の北側に階段がありますが、子どもと自然のふれあいはどうなるのですか。	尼管) 宮川へ降りられる2箇所は、お子さんが自由に出入りして遊ぶとなると安全の面で別の話になりますが、引き続き、上り下りできる階段を付ける予定です。擁壁の上に転落防止の防護柵を設置しますが、上流では高いものになり、浜打出橋付近の防護柵は50cm程度で、扉形式にする等を検討中です。
3	新設する(下宮川橋～汐風橋付近)護岸の幅はどれくらいなのですか。また、どこまで掘るのですか。	尼管) 場所によって擁壁の規格が異なり、下流に行くに従って擁壁は高くなり、幅は40～80cmの間で変化します。工事で既設の護岸を取り壊さないといけない箇所は、一度掘削し、コンクリートや石積みで復旧します。
4	擁壁は鉄筋等を入れたものになるのですか。	尼管) 鉄筋コンクリートの擁壁になりますが、ある程度の間隔で予備的に鉄筋を刺す程度の箇所もあります。

No	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
5	擁壁は、どの程度の強度のものですか。	尼管) 擁壁の強度はコンクリートの強度により変わります。既設の擁壁とは違うコンクリートを使う計画ですが、それでも簡単に壊れません。石積みの箇所は、石積みが川の流れて外れないよう石積みの背面にもコンクリートを打つ工事を行います。
6	擁壁いっぱいまで水がきたという時、それに耐えられるように、できるだけ頑丈にしてほしいです。	尼管) 水位が上がった時の擁壁の安定性を確認して施工しています。T、L型の擁壁は全部鉄筋が入っていて、鉄筋コンクリートになっていますので、強度は大丈夫です。
7	アクリル板の強度はどのくらいですか。	尼管) アクリルの強度は、強度、設計条件を満たしていることを確認して仕様を決めます。現在詳細設計中で、今確認作業を進めているところです。安全上、問題ないように設計して施工します。
8	県が8月に河川水系ごとの洪水・浸水区域を発表していました。宮川水系はかなり広範囲の浸水地になっています。この高潮対策で、浸水区域は全部解消されるのですか。工事によって、浸水想定が縮小される可能性はあるのですか。	尼管) 浸水区域は、ほとんど変わりません。今回の最大規模想定は、洪水や高潮でも数千年に一度ぐらい規模で、基本的には、避難対策のためのシミュレーションです。高潮で護岸も崩れる最悪の状況を想定したシミュレーションで、最大にそこまで浸水する可能性があるため、ハードでは補えない場合の「避難」を目的として出しています。そのため、工事が完了しても、浸水想定区域はほとんど変わりません。そのあたりを踏まえて、避難行動、避難計画を考えてください。
9	南側は擁壁が高くなるので視界が悪くなるのではないですか。だからと言ってすべてアクリル板になることを望んではいません。ところどころ視界を広げるようなアクリル板の施工はできないのですか。	尼管) 南側の下宮川橋から汐風橋の間で擁壁が高くなり見えなくなりますが、上流に行けば擁壁の高さも低くなっていきます。川が全く見えないとかはなく、上流に行けば見えていますので、その辺りでアクリル板の設置の配慮を行いました。右岸側は道路を上げることはできませんが、左岸側は歩道がありますので、歩道の高さを少し上げ、壁の圧迫感への配慮させて頂きます。アクリル板は、現在の形でご理解ください。

No	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
10	擁壁の高さのイメージが、住民には伝わりません。例えば工事前に掲示板等に説明を貼って、「壁はこの地点で〇mの高さ」と分かるような、そういう表示をしてもらいたいです。	尼管) 実際高さがどれぐらいになるかという明示の工夫は、市と検討し、対応を検討します。
11	南芦屋浜とは事情は違うにしても、今まで50年、長年見てきた景観が全く変わってしまいます。アクリル板の施工等、景観に配慮した工事を行ってほしいです。	尼管) アクリル板の施工は、説明会でお聞かせいただいた内容では、金額等で難しく配慮できないかもしれませんが、持ち帰って検討します。
12	下宮川橋と汐風橋付近の擁壁は取り崩して擁壁を新設することですが、下宮川橋から汐風橋付近は既設のものを嵩上げする記載があります。どのような理由で分けているのですか。	尼管) 基本的な考え方は、今ある活かせるものは活かして嵩上げを行います。今の擁壁の構造等の調査を行い、下宮川橋～汐風橋は今ある擁壁を活かした形の整備で、今ある擁壁を活かした嵩上げでは安全性に問題がある箇所は取り壊して改めて整備する計画としています。
13	(12の内容について) それぞれの工区の強度は遜色ないという理解で良いですか。	尼管) それぞれの嵩上げについて、安定性が確保できることを確認しています。
14	この嵩上げ工事を行った後、ハザードマップは作り直すのですか。ハザードマップの色は変わるのですか。このような工事を行った後に、まだハザードマップ上で浸水が広く起こるようではダメだと思います。	尼管) ハザードマップの目的は「避難」を促すもので、基本的にはハード対策には頼らない、避難を促進するために作成したものです。構造物・護岸も破壊する設計条件です。構造物で守りきれない災害についてどうするかという目的で作っています。ハザードマップに用いる条件も、数千年に一度の規模を想定しています。ハザードマップは、工事でゼロになるとか、浸水がなくなるというものではありません。
15	(14の内容について) 理解はできるが、この嵩上げ工事を行ったら、浸水するところは少なくなるかと考えて良いですか。	尼管) 浸水するところは部分的には少なくなるかもしれませんが、高潮で越える想定ですので、浸水エリアはあまり変わりません。越えなければ浸水範囲は変わりますが、どこかが越えてしまうと、工事を行っても、ハザードマップ上では、エリアの浸水状況が変わるということはありません。

No	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
16	<p>呉川町・西蔵町・伊勢町の下水処理は合流系になっており、ポンプで雨水・下水をくみ出しています。台風等での非常に降雨が多い場合の雨を、今のポンプの能力で排水できるのですか。足りなければ当然、順次その能力を上げてほしいです。</p>	<p>市) 呉川町・西蔵町で越水した水は合流式下水道のため全て下水処理場に流れていました。通常は1日約3万トンの汚水を処理していますが、昨年の台風第21号の宮川の越水により、処理量が7万トンを超えました。ただ、7万トンを超えてもポンプが4台あり、それを稼働し支障なく処理できた能力があります。ただ、そもそも下水処理場は想定外の災害や越水を想定して作っていません。あくまで計画降雨に対する能力を持ったものです。下水処理場でも、施設の更新等で能力やポンプの交換等を考えています。</p>
17	<p>台風等での非常に降雨が多い場合の雨はどこに行くのですか。それを排水できない都市計画では意味がありません。呉川町・伊勢町・西蔵町に降った雨の出っていくところは下水処理場しかありません。埋立地が堤防になって、雨水は出ていかないので、検討してほしいです。ハザードマップで浸かる可能性があるので浸からないようにするために今回の工事を行っているはずです。</p>	<p>(ご意見)</p>

No	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
18	宮川は去年の台風第21号の水量は少なかったのですが、上流で雨が合った場合には、宮川の水位はどのくらい上がるのですか。	尼管) 宮川の高潮対策としての計画堤防高は、H. H. W. Lの3.6mに50cm余裕を加えた4.1mです。H. H. W. Lは高潮の設計高潮位で、高潮で潮位が上がる可能性がある数値です。その潮位が上がったうえで、波の影響を考慮して4.1mに嵩上げします。洪水は、H. W. Lの2.91mが洪水の計画水位で、100年に1回の規模の洪水時の高さです。今回の工事により洪水に対しての対策が向上することは確かです。H. W. Lは12時間の降雨量200～300mmぐらい降雨で計算していますが、ハザードマップでの洪水は、宮川で12時間降雨800mmを越える数千年に1度レベルです。近年、他の地区では24時間で900mm近い雨量が記録されていますので、そういった雨が降るとどこまでなのかは、はっきり分かりませんが、河川の対策は100年という規模で対策を進めています。
19	去年の台風第21号のときに宮川が越水して下宮川橋の方から西側へ流れました。臨港線より低いと思いますが、案外早く水が消えました。その理由を教えてください。	尼管) 台風第21号の再現水位での河口潮位はT. P3.6mで、実際の潮位自体は3.2mまで上がりました。台風第21号の特徴は、ものすごく一瞬で潮位が上がり一瞬で下がりました。その時間は10分～数十分です。ものすごく下がるのが早かった影響があったと思います。
20	歩道の高さについて、下宮川橋から南側の歩道は少し嵩上げしますが、北側の歩道の高さは変わらないのですか。	尼管) 浜打出橋から下宮川橋の間は変わりません。
21	擁壁ができると川が見えにくくなりますが、子どもなど、宮川の資源を親しんでいる人もいます。少し歩道を嵩上げすれば、子どもでも下が見えるという状況になるので検討してほしいです。	尼管) 歩道の高さは、圧迫感も低減できるため、できるだけ嵩上げを行います。どうしても周辺の道路との高さで上げられないところもあるので、現地の状況を見ながら、上げられるところは上げていきます。

No	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
22	<p>大きなマンションが浜町・西蔵町で工事中をされていて、認定こども園や河川の工事が始まり、芦屋市で調整をしているとのことですが、時期的に工事は重複します。工事車両の運行について歩行者を優先、事故のないように十分注意するだけでは、通学路でもあり困ります。この地蔵通りの朝晩は自転車のスピードや市の清掃車の通るスピードも音も、非常に怖いです。誘導員をどの程度必要と考えているのですか。地蔵通りに入らないように、もっと先から誘導するなど、そういった対応を取ってほしいです。</p>	<p>尼管) 周辺で、マンション新築工事やこども園の新築工事が同時に行われるので、関連する工事会社、市も含めた関係部局で施工調整の場を設けています。できる限りの大型車両の通行台数の平準化やルートを工夫して、交通移動が円滑にできるように調整しているところです。工事ではできるだけ影響がでないよう対策の方を検討しますが、どうしてもご協力いただかないといけないところもありますのでご協力をお願いします。交通誘導員は、朝の時間帯は車両や自転車も多い状況だと思いますので、状況を見ながら調整し、交通誘導員はしっかりと安全誘導できるようにして配置をします。</p>
23	<p>擁壁は、どのぐらいの地震に耐えられるものなのですか。</p>	<p>尼管) コンクリート擁壁の設計の基準で地震の考え方があります。今回の擁壁は、震度何という基準はありませんが、大きな地震があっても致命的な損傷がない設計をしています。</p>
24	<p>アクリル板の耐用年数はどれぐらいなのですか。その耐用年数がきたらどう対応するのですか。</p>	<p>尼管) アクリル板の耐用年数は、今詳細設計中でまだ仕様が決まっていないので数字は申し上げられませんが、維持管理を適切に行い、補修やメンテナンスが必要であれば、適切に対応していきます。</p>
25	<p>年末年始の休みはどのようになっているのですか。</p>	<p>尼管) 12月20日まで作業、12月21日～1月5日まで休みで、6日月曜日から工事をさせていただく予定です。</p>